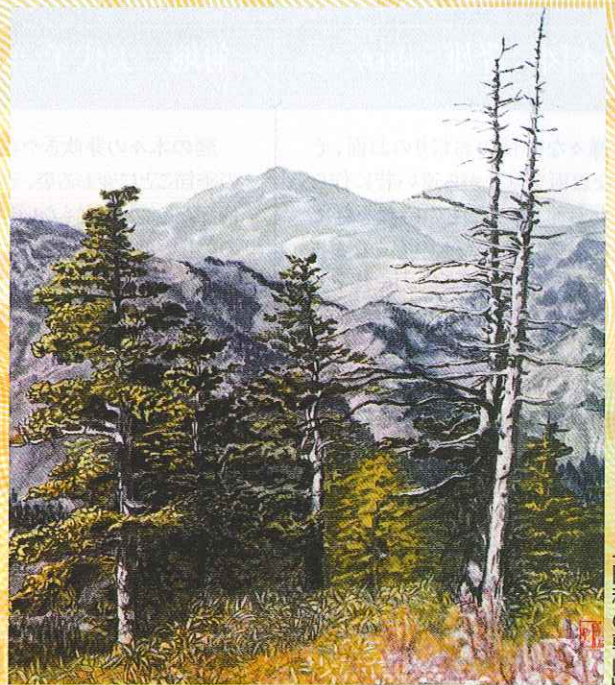




「獅子口」

本岡 隆雄
〈面打ち〉



「晩秋の朝山」

菊地 美代子
〈絵画〉



第14回 2010 石岡市芸術祭企画展inやさと

2010.10.1 **金** — 5 **火**

AM9:00 — PM5:00

◎ 最終日 PM4:00

会場：石岡市八郷総合支所1階特設ギャラリー◎入場無料

問い合わせ：石岡市教育委員会生涯学習課

☎ 0299-43-1111 内線1235 〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1

主催：石岡市芸術祭企画展実行委員会 後援：石岡市・石岡市教育委員会・石岡市文化協会



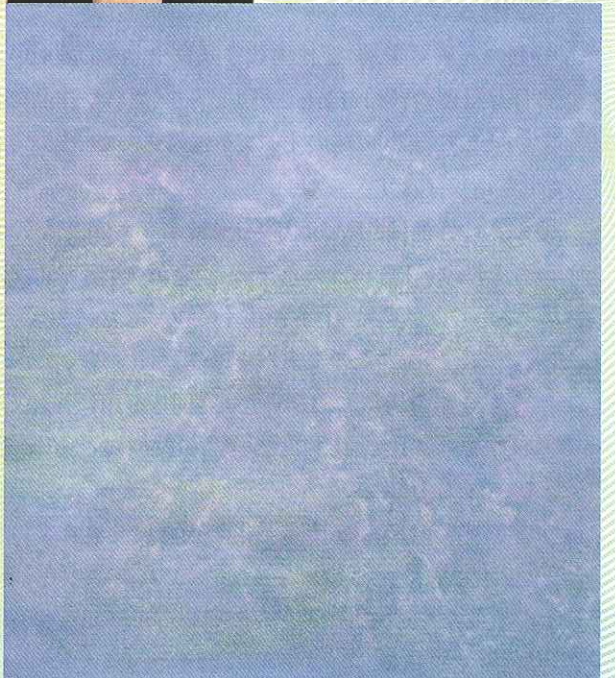
上野 久夫
〈仏像彫刻〉



「多聞天」



高橋 房子
〈絵画〉



「場所」

出展者紹介 (敬称略)

本岡 隆雄 <面打ち> もとず たかお

様々な表情のお祭りのお面、そんなお面を見ながら遠い昔に作られたお面がいくつもの時代を経て現在もお見る人々の心をなごませてくれる不思議な魅力を持っていることに気がきました。二十数年前の出来事でした。

その時から特定の人に師事することなく、全国各地の面打ち師の方々を訪ね作品を見せていただき指導を頂いてまいりました。

こうして各地で出会った人々からは、その後、今日まで沢山の助言や激励の言葉をいただいております。これはいまも私の面打ちの励みや支えとなっております。

本展を機会に多くの方々に面に関心を持っていただけたら幸いです。

- 1944 旧芦穂村に生まれる
- 1988 面打ちに取り組む
以後各地の先輩に指導を受ける
遠方では富山県井波などがある
- 1995 県立フラワーパークローズ内に
- 2010 常時作品を展示
※石岡市須釜在住

菊地 美代子 <絵画> きくち みよこ

庭の木々の芽吹きや花、雑木林の季節ごとになる姿、その下に可憐な花をつける名もない雑草、野鳥の美しい羽色や透き通った鳴声、こんな自然の中に身を置くだけで私の心は落ち着き、時を忘れてしまうのです。そんな自然の中から突然描きたいものが浮かび上がってきます。そして、私に絵筆を取ることを促すのです。

また、子供達の成長の様子も私の作品の大切な対象の一つになっています。

師の綿引佐登先生に教えを受けた「墨と色の融合」を目標に、自分の目ざす色合いを追求しつつ、これからも墨彩画の創作に取り組んでいきたいと考えております。

- 1954 茨城町に生まれる
- 1998 綿引佐登氏に師事
- 2002 日本自由画壇展 特撰
- 2007 日本自由画壇展
NHK文化センター賞
- 2008 国民文化祭美術展 入選
茨城水墨画協会会員
日本自由画壇評議員
※石岡市東成井在住

上野 久夫 <仏像彫刻> うえの ひさお

私が仏像彫刻を始めたきっかけは仏師の那花定慶(柿岡在住)の作品、地蔵菩薩立像を拝見したときのことでした。私はその像の美しさ、神々しさに心を打たれました。そして、私も仏像彫刻に取り組もうと心に決めたのです。

その後彫刻同好会に入会し、三十年近く仏像を彫り続けてまいりました。

これまで満足な作品を彫ることはできませんでしたが、一作ごとに心を込めて彫ってまいりました。

これからも彫り続けることによって豊かな心を失うことなく生きていきたいと考えております。

- 1925 柿岡に生まれる
- 1986 小学校長退職
仏像彫刻をはじめ
以後今日まで継続
- 1997 個展 石岡市民会館
- 2008 個展 石岡市民会館
※石岡市府中在住

高橋 房子 <絵画> たかはし ふさこ

私が絵を描くという事は自分自身の過去から未来へと思いを馳せる人生観なのです。

故意と偶然との出会いが作品となり、その結果有色であったり無色であったり、上手とか下手とか好きとか嫌いとか思い思いの評価の上に存在している絵。この終わりを知らない世界観が生きている事のエネルギーとなって絵と対峙しながら描きつづけ、楽しさを味わうことができるのです。

- 1935 旧関川村に生まれる
- 1996 加藤肇司氏に師事
- 2004 個展 すどう美術館
- 2008 「100人の交流展」
兵庫県立美術館
◎すどう美術館オリジナル
カレンダー1月採用
- 2009 「OPINION OF ART」
主催:すどう美術館
県立つくば美術館
- 2010 「OOG1展」 すどう美術館
個展 すどう美術館
※石岡市小幡在住

ごあいさつ

本年度はこれまで展示することがなかった彫刻分野から上野久夫氏の仏像と本岡隆雄氏の面を出品していただくことになりました。お二人は共に二十数年もの長い年月を歴史と伝統のある日本独自の芸術に取り組んでこられました。お二人の技はすでに高い境地にまで到達されておられ、作品はそれぞれ神々しさややさしさ、そして郷愁を感じさせてくれる素晴らしい作品ばかりです。

絵画は高橋房子氏、菊地美代子氏に出品をお願いいたしました。高橋氏の作品は色の調和の美しさがすばらしく思わず作品に引き込まれてしまいます。そして、まわりのものすべてを包み込んでしまうような不思議な魅力を感じさせてくれます。

菊地氏の作品は自然の美しさを追求するばかりでなく、お子様方の成長の過程を丹念に描いておられます。淡い色合の工夫は魅力的ですが、特にいくつかの作品に見られるように作品のどこかにさっと光がさし込んでいてはっとするような表現の工夫がすばらしく印象的です。

本年も是非会場にお運びいただき同じ市内に住んでおられる四名の方々の作品の鑑賞を通して芸術作品の持つ真の美しさを感じ取っていただきたいと存じます。

石岡市芸術祭企画展 実行委員長 関 甲太郎



石岡市芸術祭企画展実行委員

関 甲太郎・小河原和子・桜井紀美子・永瀬満雄・永瀬敬子・増淵 健・森田孝子

●アドバイザー: 梶谷 昶・浦口雅行

◎問い合わせ

石岡市教育委員会生涯学習課 ☎ 0299-43-1111 内線1235
〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1